

幸 福

藤 倉 一 郎

この青い空を眺めていると
幸せがやつてきそうな気がする
この青い空のどこかに
幸せが住んでいるような気がする

青く澄んだ

透明な空をみていると
すこし幸せな気持ちになつて
こころがすこし明るくなる



幸福とは

こんなものなのだ

存在感のうすい

空気のようなものなのだ

生きていなければ

こんな感情をあじわうこともない

この青い空のどこかに

幸せが住んでいるというような気がする

旅の終わり

だれにも会わずに
このまま帰ろう



とぼとぼと
帰つていこう

あなたとの楽しかった日々を
いつまでも思つていよう
山の見える山荘から
夕焼けを眺めました

みずうみの畔を
わたしたちは
子犬といつしょに
散歩しました

ガラス細工の店で
色とりどりの置物を
いつまでも



眺めていました

樹林を眺めながら
ゆっくりと
コーヒーを
飲んでいました

うぐいすと

ほととぎすが鳴き
遠くにかつこうの声も
聞えました

すべては夢のように
消えていきます
ふりかえらないで
このまま帰りましょう

